



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

7月号—No.350

2024.6.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



夏休み!ミュージズ とことこ探検ツアー(埼玉県所沢市)

©Tokorozawa MUSE

## ●目次 / contents

### 特集「2024年夏のフェスティバル」

フェスティバルカレンダー.....2

夏休み子ども企画カレンダー.....4

地域通信.....7

財団からのお知らせ.....9

地域創造フェスティバル2024参加者募集/令和7年度リージョナルシアター事業 実施団体募集/令和6年度地域創造大賞(総務大臣賞)募集開始/令和7・8年度公共ホール創造ネットワーク事業 実施団体募集/公共ホール邦楽活性化事業 令和7年度実施団体募集・令和6年度全体研修会報告/令和7年度公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)・公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)・公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業 実施団体募集/令和7・8年度公立美術館活性化事業 参加館募集/市町村立美術館活性化事業 貸出協力館募集

今月のレポート.....16

愛知県豊田市 豊田市美術館・豊田市博物館  
「未完の始まり: 未来のヴンダーカンマー」

発行元: 一般財団法人地域創造  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11  
オリックス赤坂2丁目ビル 9F  
Tel. 03-5573-4093 Fax. 03-5573-4060  
URL: <https://www.jafra.or.jp/>



# 特集「2024年夏のフェスティバル」



恒例の「夏のフェスティバル特集号」の季節となりました。話題の大型企画から定番イベントまで、一挙にご紹介します。

## 2024年7月～9月 フェスティバル カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。  
☒は会場、☉は問い合わせ先です。  
(☞は地域創造助成事業)

### 音楽

●札幌市 7月10日～30日

パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)2024

世界を代表する音楽家を教授陣に迎え、オーディションで選ばれた若手音楽家が世界中から集まるレナード・バーンスタイン提唱の国際教育音楽祭。34回目の今年は、かつてPMFアカデミーで学んだエリアス・グランディアが客演指揮者として凱旋。また、オーストリア出身の名匠、マンフレート・ホーネックを首席指揮者に迎えコンサートを開催する。

☒札幌コンサートホールKitara ほか

☉(公財)PMF組織委員会  
Tel. 011-242-2211

●秋田県秋田市

6月16日～11月16日

秋田・潟上国際音楽祭2024

今年で3回目を迎える秋田を舞台にした音楽祭。一番の目玉は、

提携を結んだアルトマルク音楽祭(ドイツ)の芸術監督レインハルト・ジーハファーの指揮による『運命』と実行委員長千田桂大のピアノ協奏曲。また、子どもたちにも意味のある音楽祭を実現するため、地元中学校の吹奏楽部とのコラボコンサートも予定している。運営などを通じて地域の若者に活躍の場を提供することにも力を入れており、秋田から世界に向けて、初来日の2名を含むさまざまなプログラムで音楽をお届けする。

☒秋田アトリオン音楽ホールほか  
☉秋田・潟上国際音楽祭実行委員会事務局 Tel. 018-874-9215

●群馬県草津町 8月17日～30日  
第44回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル

今回で44回目を数える講習会と演奏会から成る夏の音楽祭。「モーツァルト 愛され続ける天才」をテーマに、2週間にわたって毎日コンサートを開催し、「何故これほどまでにモーツァルトは愛されるのか」という謎を紐解き、その魅力に迫る。8月25日のコンサートでは、モーツァルトのオペラ『魔笛』をモチーフにしたミサ曲(作曲者不詳)が日本初演される。

☒草津音楽の森国際コンサートホール

☒草津夏期国際音楽アカデミー事務局(東京)

Tel. 03-5790-5561



©林喜代種

●千葉市 5月25日～12月8日  
BAY SIDE JAZZ 2024 CHIBA

1998年より開催しているジャズの祭典。一線で活躍するプロ出演のメインイベント「スペシャル2DAYSコンサート」(9月28日、29日/千葉市民会館)をはじめ、クルーズ船内や市内6区のホールでのライブ、プロ・アマ問わず演奏家が競うコンペティションなど、5月から12月にかけて市内各所で多彩なイベントが開催され、身近な場所で気軽にジャズ演奏を楽しめる。

☒千葉市内各所  
☉千葉市文化振興財団  
Tel. 043-221-2411

●川崎市 7月27日～8月12日  
(7月29日、8月6日は休演日)

フェスタサマーミュージック  
KAWASAKI2024

開館20周年、川崎市市制100周年というWアニバーサリーの

写真

左上:福島わらじまつり(福島県福島市)  
右上:ART OSAKA 2023 Galleries セクション(大阪市) photo by Taiya Yuico  
左下:おはなしファミリー劇場「心はぐくむおはなしの世界」(長野県信濃町)  
右下:喜多方発21世紀シアター(福島県喜多方市)

中で行われる、20回目の真夏のオーケストラの祭典。今年には初出演2団体を加え、東京交響楽団をはじめ計11団体のオーケストラが日替わりで競演する。期間中はこども向け公演、パイプオルガン公演、ジャズ公演、市内音大公演のほか、公演前のプレトークやプレコンサートも行われる。  
 ㊦ミュージア川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ  
 ㊦ミュージア川崎シンフォニーホール  
 Tel. 044-520-0100

●富山県南砺市

8月23日～25日

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 2024

「音楽を通しての異文化交流」をテーマに、世界各地の文化との出会いと交流の場をつくりながら地域に根ざした音楽文化の創造を目指す市民参加型フェスティバル。約200人の市民が企画運営を担う。今年にはブラジルやオランダ、インドネシアなど国内外アーティストのコンサートやワークショップのほか、全国から集まるパレードや、市内全域での学校アウトリーチも予定されている。

㊦南砺市福野文化創造センターほか

㊦スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 実行委員会 Tel. 0763-77-3817



パレードの様子

●長野県松本市

8月9日～9月4日

2024セイジ・オザワ 松本フェスティバル(OMF)

1992年に小澤征爾が創立し、毎年松本市で開催される国際音楽祭。今年には総監督の小澤本人よりOMF首席客演指揮者として指名を受けた沖澤のどか、そしてアンドリス・ネルソンスを迎え、サイトウ・キネン・オーケストラを中心に多彩な演目が披露される。全公演が、2月に逝去した小澤征爾総監督に捧げられる。  
 ㊦キッセイ文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市音楽文化ホールほか

㊦セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

Tel. 0263-39-0001

●長野県木曾町

8月22日～25日

第50回木曾音楽祭

50回目になる今回は、例年よりも人数を増やした編成で、国内有数の演奏家による室内楽コンサートが開催される。文化ホールで行われるコンサートに加え、地元中学校の体育館でより気軽に楽しめる前夜祭コンサートも実施。地区の集会所や個人の山荘などを演奏家の宿泊施設として提供、食事を地元のボランティアが準備するなど、演奏家を地域住民が支える音楽祭。

㊦木曾文化公園文化ホール

㊦木曾音楽祭実行委員会

Tel. 0264-21-1222

●岐阜県岐阜市

7月20日、21日

《ストリングス・フェスティバル 2024》STROAN コンサート

2020年より実施している、ぎふ弦楽器貸与プロジェクト「STROAN」の貸与メンバーが集結する毎年恒例のコンサート。1日目は公開レッスンとメンバーによるソロコンサート、2日目にはトップ・アーティストとの共演をお届けする。さらに今年は協奏曲だけではなく、新たに弦楽合奏曲に挑

戦している点にも注目。

㊦サラムンカホール

Tel. 058-277-1113

●長崎県佐世保市

8月17日、18日

アルカス九十九島音楽祭2024

2004年から続く市民が主役の音楽祭。合唱や吹奏楽、琴など多彩な市民演奏家82団体が参加し、『海・島・風・夏』をテーマにした曲を披露する。また、同館を拠点に活動するアルカスSASEBOジュニアオーケストラによるオープニングアクトや長崎県ゆかりのゲストステージ、尺八の演奏団体によるワークショップなど、家族で楽しめる企画が全館で行われる。ながさきピース文化祭2025プレ事業。

㊦アルカスSASEBO

Tel. 0956-42-1111

●鹿児島県霧島市、鹿児島市ほか  
7月19日～8月4日

第45回霧島国際音楽祭

国内外の一流アーティストが参加、コンサートとマスタークラスの2本立てで行われる音楽祭。DJとしても活躍するふかわりょうとクラシック音楽のトッププレイヤー(川久保賜紀、鷲尾麻衣、神田将)が共演する「プチョヘンザ!クラシック」は、本格的なクラシック音楽からDJプレイまで幅広い内容が魅力。牛田智大・松田華音のダブルリサイタルほか、約100名の名手が集うキリシマ祝祭管弦楽団「春の祭典」が伝統の音楽祭を彩る。

㊦みやまコンセル、宝山ホールほか

㊦霧島国際音楽祭事務局(ジェスク音楽文化振興会内)

Tel. 03-3499-4530

演劇・ダンス

●長野県飯田市 8月1日～4日

いいだ人形劇フェスタ2024

毎年8月に開催される日本最大の人形劇の祭典。国内外からプロ・アマチュアの約260劇団が一堂に会し、市全域および下伊那郡で約420の公演が行われる。期間中は中心市街地での人形パレード、歩行者天国での人形劇と大道芸のパフォーマンスのほか、プロから学べる人形づくりワークショップやスタンプラリーなど毎日楽しめる企画が盛りだくさん。

㊦飯田市および近隣町村の約140会場

㊦いいだ人形劇フェスタ実行委員会事務局 Tel. 0265-23-3552

美術・映像

●北海道東川町

7月30日～9月2日

第40回東川町国際写真フェスティバル

1985年に東川町が行った「写真の町宣言」をきっかけに、毎年夏に開催されるフェスティバル。第40回を迎える今回も、写真の町東川賞授賞式、受賞作家作品展やフォーラムを中心に、全国の高校の写真部やサークルを対象とする写真大会「写真甲子園」など若手育成につながるイベントや、写真文化の魅力を伝えるプログラムなどを幅広く展開する。

㊦東川町内各所

㊦東川町写真の町実行委員会

Tel. 0166-82-2111

●新潟県佐渡市

8月11日～11月10日

さどの島銀河芸術祭2024

2016年にスタートした、アートを通じて新たな観光需要の創出を目指したプロジェクト。佐渡島の豊かな自然や独特な歴史、その中で育まれた民話や伝来など、この地で暮らす人々の魅力を国内外から参加したアーティストの作品を通して再発見する。完成

## topics

### ●長久手に楽器妖怪が大出現！

#### 「おんぱく2024～真夏のおんぱく大縁日～」

長久手市文化の家の「おんぱく」は、2004年からほぼ隔年開催してきた館内が丸ごと一日音楽テーマパークになるイベントで、今年10回目を迎えます。2016年からは乳幼児が楽しめることを重視した方針に切り替え、メインターゲットを幼児から小学校低学年までの子どもたちとしています。

行政とアーティストと市民の実行委員会形式で、毎回さまざまなテーマを取り上げて開催しており、今年のテーマは「吹奏楽」。6月から市内のあちこちで、おんぱくメンバーによるまちなかコンサートが始まります。8月4日には文化の家でおんぱく大縁日が開催され、館内が一日お祭り会場になります。

メインは東京佼成ウインドオーケストラと東海地区のプロ奏者で結成されたスペシャルウインドオーケストラによるコンサート。メイン曲は『鳳凰が舞う』ですが、この鳳凰を迎え入れるために、妖怪になった楽器たちは市内の色々な所で音を鳴らし始めるといった、神事である縁日をモチーフとした企画で、チラシにも出演している楽器妖怪たちに館内のどこかで会えるようです。

コンサートのほかにも、マーチング体験ができる「おんぱく百鬼夜行」やダンスワークショップの「通りゃんせ踊りゃんせ」、昔の楽器展示と体験ができる「つくも神 古楽器の館」、自分だけのつくも神をつくれる「マイつくも神工房」など、楽しめる催しがたくさん用意されています。まちなかコンサートと大縁日を巡って、妖怪印(スタンプ)を集めるスタンプラリーも仕掛けの一つとして用意されています。

赤ちゃんから大人まで、つくって、聴いて、踊って、音楽と夏を全身で楽しめるお祭りです。



●愛知県長久手市 8月4日  
◎長久手市文化の家、長久手市内各所  
◎長久手市文化の家  
Tel. 0561-61-3411  
<https://bunkanoie.jp/>

2018年のおんぱくゲリラコンサートの様子

した作品の展示・紹介だけでなく、ライブアートパフォーマンスや体験型プログラムを実施する。  
◎佐渡島内各所  
◎さどの島銀河芸術祭実行委員会 Tel. 0259-67-7657

### ●新潟県十日町市、津南町

7月13日～11月10日

#### 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024

越後妻有の風土、食とともにアートを楽しめる、地域内の随所に工夫を凝らした芸術祭。地域内最深部の集落では、地域住民の協力を得て、廃校を舞台にアーティストたちと新たな作品を生み出す。9回目の今回は41の国と地域から275組のアーティストが参加。芸術祭の拠点となる越後妻有里山現代美術館 MonETでは体験型の企画展も

開催。里山と食とアートと一緒に楽しめるお得なバスツアーも用意されている。

◎新潟県越後妻有地域(十日町市、津南町)

◎大地の芸術祭実行委員会事務局 Tel. 025-757-2637

### ●大阪市 7月18日～22日

#### ART OSAKA 2024

大阪を代表する2つの文化エリア(中之島、北加賀屋)で開催される国内で最も長い歴史をもつ現代美術のアートフェア。2022年には国内初の試みとして、大型作品・インスタレーションに特化した「Expandedセクション」を北加賀屋でスタート。国際的に活躍する作家に加えて若手～中堅作家の作品も多く出展され、キャリア育成の場としての役割や健全な美術市場の成長と拡大、国際的な情報発信を目的としている。

◎Galleriesセクション(7月19日～21日): 大阪市中央公会堂3F / Expandedセクション(7月18日～22日): クリエイティブセンター大阪、kagoo(カグー)

◎(一社)日本現代美術振興協会ART OSAKA 事務局

Tel. 06-6777-8303

#### 総合

### ●福島県福島市 8月2日、3日

#### 福島わらじまつり

12mを超える大わらじを担いで練り歩く夏祭り。400余年の伝統を有する「暁まいり」に由来し、50回目(2019年)に福島出身の音楽家・大友良英による総合プロデュースで全面リニューアルした。笛や太鼓のリズムに合わせてわらじおどりやパレードが繰り広げられるほか、今年度は有料観覧席の拡大に伴い、輪踊りではなく流し踊りが楽しめる。

◎福島市信夫通り(国道13号)

◎福島わらじまつり実行委員会

(福島商工会議所内)

Tel. 024-572-7118

### ●福島県喜多方市

8月2日～5日

#### 喜多方発21世紀シアター2024

喜多方プラザ文化センターをメイン会場に市内各所で芝居・音楽・人形劇・落語・大道芸といった多彩な公演を開催する全国でも稀な子どもから大人まで楽しめるアートフェスティバル。小学生からシニアの方々まで幅広い世代のボランティアによって運営されており、開始当初の「0才の子どもが成人するまで続けたい」との目標を超え、今回で25周年を迎える。

◎喜多方プラザ文化センターほか喜多方市内各所

◎喜多方発21世紀シアター実行委員会 Tel. 0241-24-4611

#### ホール・美術館

### 夏休み子ども企画 カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。

◎は会場、◎は問い合わせ先です。  
(📍)は地域創造助成事業)

#### 音楽・演劇・ダンス

### ●岩手県宮古市ほか

8月10日、12日

#### 劇場演劇部2024「光になったら」

主に高校に演劇部がない宮古市・下閉伊郡地域の学生を対象に、本格的な公演まで実施する夏休み期間限定の演劇部を立ち上げる。キャストだけでなく、演出や技術、衣装、制作など裏方のスタッフも募集。作・構成・演出の穴迫信一(ブルーエゴナク)や劇場スタッフのサポートを受けながらじっくりと演劇づくりを学び、文化会館と盛岡市で成果発表公演を行う。

☒8月10日：宮古市民文化会館、  
12日：風のスタジオ(盛岡市)  
☒宮古市民文化会館  
Tel. 0193-63-2511

●埼玉県越谷市 7月7日  
“親子で聴ける”コンサート16  
絵本deクラシック『ピノキオの  
冒険』

聞き覚えのある曲や、会場参加を交えた構成により、日頃コンサート会場に入れない未就学児と家族と一緒に楽しめる本格的なクラシックコンサート。今回はアニメーション処理をした動く絵本をスクリーンに投影し、朗読と金管楽器とピアノの生演奏で物語を紡ぐ人気プログラムを実施。『ONE PIECE』のナミ役でお馴染みの岡村明美がナレーションを務める。  
☒☒サンシティ越谷市民ホール  
Tel. 048-985-1112

●東京都台東区 8月17日  
夏休み子ども音楽会2024  
《上野の森文化探検》

家族でフルオーケストラのコンサートを楽しむ夏休み恒例のプログラム。今年は東京フィルハーモニー交響楽団(指揮・お話し：円光寺雅彦)が出演。「ヨーロッパのおどり」と題して、東京バレエ団も共演する。公演チケット購入者は動物園や博物館など、上野エリアの各施設に無料や割引で入場可能。同日は小ホール、リハーサル室で「ミュージック・ワークショップ」も開催。  
☒☒東京文化会館  
Tel. 03-3828-2111

●横浜市  
7月6日、7日、20日～28日  
KAATキッズ・プログラム2024  
2011年の開館当初から続いている、子どもに本格的な舞台公演を提供するプログラム。海外招聘作品は、昨年ロームシアター

京都とエーシーオー沖縄の共同で製作され好評を博したアンディ・マンリー作・演出の『ベック』がKAATに登場(7月6日、7日)。気鋭のアーティストによる新作公演として、今年岸田戯曲賞を受賞した劇団た組の加藤拓也が初めて子ども向け作品として書き下ろした『らんぼうものめ』が鞘師里保の主演で上演される(7月20日～28日)。終演後にはバックステージツアーも開催。  
☒☒KAAT神奈川芸術劇場  
Tel. 045-633-6500

●新潟市 8月17日  
オーケストラはキミのともだち  
新潟市の準フランチャイズオーケストラ・東京交響楽団による恒例の夏休みコンサート。お馴染みのクラシックや映画音楽の名曲のほか、各楽器の音色や特徴を紹介しながら紡いでゆくディズニーメドレーなど、親しみやすくオーケストラの迫力を感じられる。新潟市ジュニアオーケストラ教室のメンバーがレクチャーするヴァイオリン体験やホールスタッフの仕事体験、バックステージツアーなど、ホールの魅力を1日で満喫できる。  
☒☒りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-7000

●富山県富山市 8月8日～11日  
「パフォーマンス合宿 in 富山」とやまPCAMP2024  
(公財)国際文化フォーラム(TJF)の主催で、「多文化×芸術」をコンセプトに2018年から東京や広島で開催されている短期合宿型の文化体験・交流プログラム「PCAMP」。今年は(公財)富山市民文化事業団とのコラボで富山でも開催。さまざまなバックグラウンドをもつ中高生が、柏木俊彦(演出家)や田畑真希(振付家・ダンサー)らファシリテーターのサポートを受けながら作

品創作に挑み、最終日に発表公演が行われる。  
☒富山市民芸術創造センター、  
オーバード・ホール  
☒富山市民文化事業団  
Tel. 076-445-5610

●長野県佐久市 8月2日～4日  
キッズ・サーキット in 佐久2024  
国内外の優れた舞台芸術団体を佐久市内の複数の文化施設に招聘した児童・青少年のための舞台芸術フェスティバル。大人も子どもも楽しめる演劇や音楽劇、人形劇など24公演が行われる。前日の8月1日にはスタート公演として、子ども創作舞台プロジェクト“はじまりのIPPO”による『おとぎの国のアリス』を上演。小学3年～高校2年の子どもたちと劇団鳥獣戯画がオリジナルミュージカルをつくり上げる。  
☒佐久市コスモホール、佐久平交流センター ほか  
☒キッズサーキット in 佐久実行委員会 Tel. 0267-82-3962

●長野県信濃町 7月13日、14日  
おはなしファミリー劇場  
「心はぐくむおはなしの世界」  
世界で唯一のミヒャエル・エンデの常設展示や松谷みよ子、いわさきちひろにゆかりのある文学館として知られる黒姫童話館では、200席の童話の森ホールで朗読会やコンサート、紙芝居などさまざまなイベントを実施している。毎年夏は長野県内の朗読サークルとの共催で、日本や世界の昔話、最新の人気絵本、宮沢賢治作品などを映像やギター、ピアノの生演奏を交えて朗読する公演を開催。  
☒☒黒姫童話館  
Tel. 026-255-2250

●京都市 8月17日、18日  
プレイ!シアター in Summer  
2024 オープンディ

「劇場で遊ぼう!」をコンセプトに毎年開催している夏休み企画。「京都市交響楽団0歳からの夏休みコンサート」や小学生のためのらくご教室「こども市民寄席」など多彩な舞台芸術体験プログラムが全館で行われる。12日～14日にはミニ公演の照明や音響を体験する舞台スタッフワークショップ、7月20日、21日にはステージプログラムとしてアイランドの劇団ミッドナイトシアターによる子どもと大人も楽しめる音楽劇『はじめての一步』が開催される。  
☒☒ロームシアター京都  
Tel. 075-771-6051

●兵庫県伊丹市  
8月24日、25日  
「みんなの劇場」こどもプログラム  
音楽劇『どくりつ こどもの国』  
普段劇場に来る機会が少ない地域の子どものために良質な舞台作品を提供する事業「みんなの劇場」。今回は地域創造公共ホール演劇ネットワーク事業の作品として上演した『どくりつ こどもの国』の再演プロジェクト。昨年は橋本匡市の演出でストレートプレイとして創作され、2年目の今回は作者・岩崎正裕が初演と同じ音楽劇として再創作。戦争をモチーフにしながら、ユーモアにあふれるセリフやシーンがたっぷり織り込まれ、家族で楽しめるエンターテインメント作品となっている。

☒東リ いたみホール  
☒アイホール(伊丹市立演劇ホール) Tel. 072-782-2000



えほんミタイナえんげき「どくりつ こどもの国」(2023年8月) 撮影：井上大志(Leo Labo)

## topics

### ●夏休みに家族でどこいく？ そうだ！ 劇場に行こう！ 那覇芸術文化劇場なは一と「サマー・ファミリー・シアター —2024～なは一とでなつやすみ～」

2021年に開館した那覇芸術文化劇場なは一とが昨年から開催している夏のイベント「サマー・ファミリー・シアター」。今年は、まちなか施設から劇場に会場を移し、劇場で過ごす夏休みとして、本格的な公演を鑑賞できる舞台プログラムといつでも遊べるロビープログラムを展開します。

なは一と館内の3つの劇場では、それぞれ趣向を凝らした3つの作品を上演。約1,600席の大劇場では、舞台上や客席、バックヤードなど劇場全体を体感しながら楽しめる観客参加型演劇『リュウグウのツカイ～うらしまをたすける！～』を開催するほか、小劇場では、沖縄の伝統音楽や踊り、うちなー口といった沖縄の魅力が詰まった歌舞劇『かりゆし・かりゆし 恋するシーサー』、小スタジオでは夏の夜にびったりの昔から沖縄に伝わる怪談を現代風にアレンジした『ウチナー怪談学校』と、多彩な舞台プログラムが目白押し。一方ロビーでは、一日中遊べる食のマルシェや「国頭村・やんばる森のおもちゃ美術館」の木のおもちゃで遊べるキッズスペースなどが開かれます。

今回、家族向けの全館イベントを行うにあたり、プログラムディレクターにおきなわこども演劇プロジェクト等を手掛ける島袋景子氏を迎え、県内の女性ワーカー集団OFNEと広報に取り組むなど地域団体とも連携して企画。ロビープログラムには、沖縄の伝統芸能「組踊」を元にした「組踊たいそう」や舞台プログラムとも連動して楽しめる「海」のクイズラリーなどもあり、家族でふらっと遊びに来て、沖縄の文化や演劇に出会える仕掛けが散りばめられています。



●沖縄県那覇市 8月24、25日  
☎那覇芸術文化劇場なは一と  
Tel. 098-861-7810  
<https://www.nahart.jp/>

昨年の様子(組踊たいそう)

### ●福岡県柳川市 7月27日

#### こどもオペラ 『ブレーメンの音楽隊』

作曲家・福嶋頼秀の編曲・構成により2014年から各地で開催されている子ども向け音楽鑑賞プログラム。グリム童話『ブレーメンの音楽隊』をベースに、クラシックの名曲のほか、童謡や手遊び歌などを交えた参加型のコンサートで、0歳児から入場可能。

約60分間のプログラム中でも入退出が自由という、親子で気軽にクラシック音楽に親しめる構成となっている。

☎柳川市民文化会館(水都やながわ) Tel. 0944-73-7777

●沖縄県那覇市 7月22日～28日  
りっかりっかフェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)2024

「劇場は命薬(ヌチグスイ)」をテーマに毎年開催される国際舞台芸術フェスティバル。0歳から大人までが楽しめるノンバーバル作品を中心に10カ国・13作品が上演されるほか、平和構築における文化芸術の役割を考えるシンポジウム、関係者によるミーティングなど、心を育むエネルギー源「命薬」となることを信じて、豊かな芸術体験と対話の場を開く。

☎那覇芸術文化劇場なは一と、ひめゆりピースホールほか那覇市内各所  
☎りっかりっかフェスタ事務局  
Tel. 098-943-1357

## 総合

### ●福島県いわき市 7月21日 アリオス・オープンデイ

開館以来、さまざまな住民参加型事業を展開してきたアリオスでは初めての夏休み1日劇場体験プログラム。メインの「アリオスごっこdeコンサートをつくろう！」と題した劇場の仕事体験では、スティールパンやマリンバなどの打楽器や、舞台・音響・照明などステージのテクニカルを学んでミニコンサートをつくり上げる。ほかにも開館当初から実施しているお馴染みのバックステージツアーやアクアマリンふくしまの移動水族館などが館内や平中央公園にて繰り広げられる。  
☎いわき芸術文化交流館アリオス Tel. 0246-22-8111

### ●東京都小平市 8月25日 2024ルネこだいら夏休みフェスタ

NPO法人小平こども劇場、小平青少年吹奏楽団、(公財)小平市文化振興財団の3者で構成する実行委員会が企画運営している恒例のフェスティバル。青少年吹奏楽団や芸能団体による本格的なステージをはじめ、練習

室や展示室では、武蔵野美術大学など近隣の大学生たちによるワークショップや遊び体験が終日行われるなど、地域の協働で世代を超えて一緒に楽しめるプログラムとなっている。

☎ルネこだいら(小平市民文化会館) Tel. 042-345-5111

### ●埼玉県所沢市 7月27日

#### 夏休み!ミュージアムとことこ探検ツアー

毎年夏休みに開催、子どもの自由研究の題材としても好評を博している劇場体験ツアー。照明機材の操作体験など交えながら2,000席の大ホール「アークホール」をくまなく探検するほか、ホールオルガニストによるミニコンサートを鑑賞後は、国内最大級のパイプオルガンの演奏体験で締め括る2時間のツアーが1日3回行われる。

☎所沢市民文化センターミュージアム  
☎所沢市文化振興事業団  
Tel. 04-2998-6500

### ●滋賀県守山市 8月11日

#### ルシオールAKF「夏の思い出」2024

毎年秋に開催している親子で楽しめるアートプログラムが全館で行われる1dayイベント「ルシオールAKF(アート キッズ フェスティバル)秋色」を、今年は「夏の思い出」と題して夏休み期間中に開催。大阪交響楽団による「0歳からのクラシックコンサート」、ピアノ奏者・新谷キヨシによる恒例の参加型コンサート「音の遊園地」をはじめ、人形劇やワークショップ、伝統文化体験など、さまざまな催しが行われる。  
☎守山市民ホール  
☎守山市文化体育振興事業団  
Tel. 077-583-2532

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

## 地域通信

### ●掲載情報について

最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

### ●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

### ●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### ●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093  
letter@jafra.or.jp  
地域創造情報担当 和田・今野

### ●2024年9月号情報締切

7月19日(金)

### ●2024年9月号掲載対象情報

2024年9月～11月に開催もしくは募集されるもの

### 北海道・東北

#### ●岩手県盛岡市

岩手県立美術館  
〒020-0866 盛岡市本宮字松幅12-3

Tel. 019-658-1711 吉田尊子

<https://www.ima.or.jp/>

#### コレクション展

##### 特集: どうぶつのかたち

毎年季節ごとに4回の展示替えを行って実施しているコレクション展の第1期。今期は、身近で親しみのある動物を主題とした作品を集めて紹介。「魚の画家」と称された白石隆一の絵画や大正時代に活躍した松橋宗明の鍍金など、ジャンルを問わず展示し、つくり手の視点を想像しつつ、それぞれの造形表現のおもしろさを楽しむ。

[日程] 4月26日～7月15日

[会場] 岩手県立美術館

### 関東

#### ●茨城県水戸市

茨城県近代美術館  
〒310-0851 水戸市千波町東久保666-1

Tel. 029-243-5111 澤渡・鈴木

<https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>

#### 石岡瑛子 | デザイン

多岐にわたる分野で世界的に活躍したデザイナー・石岡瑛子(1938～2012)の活動を、前半期の資生堂、PARCOの代表作をはじめ、ポスターやCM、グラフィックアートからスケッチまで約500点を一挙公開。石岡の目指したデザイン哲学と生涯にわたり磨き抜いた「I=私」を浮き彫りにする展示となっている。

[日程] 4月27日～7月7日

[会場] 茨城県近代美術館

#### ●さいたま市

埼玉県芸術文化振興財団  
〒338-0014 さいたま市中央区上峰3-15-1

Tel. 048-858-5500 田中美樹

<https://www.saf.or.jp/arthall/>

#### 音楽劇『死んだかいぞく』

普段は目をそむけがちな「死」をモチーフに描かれた下田昌克原作の絵本『死んだかいぞく』を、ノゾエ征爾の脚本・演出による音楽劇として上演。下田本人が舞台美術・衣裳・小道具デザインを手掛け、ノゾエ作品に欠かせない田中馨の音楽とともに大人から子どもまで楽しめる作品になっている。8月には、上田、富山、福井、神戸、北九州、岡山、松本でも上演。

[日程] 7月20日～28日

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場

#### ●埼玉県草加市

草加市文化協会  
〒340-0013 草加市松江1-1-5  
Tel. 048-931-9326 手塚啓文  
<https://soka-bunka.jp/>

#### オリジナル市民音楽劇

##### 『ドリーム・Dream ～夢博物館へようこそ～』

草加市で2009年から続く市民音楽劇。毎回多様な世代の市民が参加し、市民劇の披露の場としてはもちろんのこと、市民交流の場ともなっている。今回は“夢”をテーマに、「夢博物館」「ドリームミュージアム」を巡るオリジナルストーリーの音楽劇を実施する。約7カ月のワークショップを経た70人の市民が出演し、朗読・ダンス・歌を披露する。

[日程] 7月15日

[会場] 草加市文化会館

#### ●千葉県柏市

柏市文化・交流複合施設パレット柏  
〒277-0005 柏市柏1-7-1  
301号 Day Oneタワー3F  
Tel. 04-7157-0280 渡慶次明子  
<https://www.palettekashiwa.jp/>

#### 生誕88年 早川義孝展

柏市を代表する画家・早川義孝

(1936～2012)は、新槐樹社名誉会長として長年にわたり後進の育成と芸術の普及に尽力した。今回の展示では、早川作品の特徴ともいえる鮮やかな筆致で紡がれた幻想的な絵画約40点を紹介。柏市に昨年度寄贈された7点の作品は初公開となる。期間中はデジタルスタンプラリーを行い、集めるとオリジナルグッズや展示招待券も贈呈される。  
[日程] 7月12日～8月5日  
[会場] 柏市文化・交流複合施設パレット柏

#### ●東京都墨田区

すみだ北斎美術館  
〒130-0014 墨田区亀沢2-7-2  
Tel. 03-6658-8936 奥田敦子  
<https://hokusai-museum.jp/>

#### 北斎 グレートウェーブ・インパクト — 神奈川沖浪裏の誕生と軌跡 —

今年20年ぶりに発行される新千円札の裏面に、北斎の『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』が図柄として採用されることを記念した企画展。この絵がどのような背景で誕生したか、またその図柄がさまざまに利用された軌跡をたどり、海外で「グレートウェーブ」の通称で親しまれる影響と、その広がりを紹介する。

[日程] 6月18日～8月25日

[会場] すみだ北斎美術館

### 北陸・中部

#### ●静岡県掛川市

掛川市文化財団、掛川市  
〒436-0079 掛川市掛川1142-1  
Tel. 0537-62-2061 石井佳奈子  
<https://k-kousya.or.jp/ninomarui/>

#### 牧野宗則 木版画の世界

##### — 織りなす色 いのちの輝き —

浮世絵木版画の高度な技術と創作木版画の精神性を融合・昇華させ、四季折々の草花や大海、雄大な富士をモチーフに、作画から彫り、摺りまでたった一人で行う静岡市出身の現代木版

画家・牧野宗則(1940～)の展覧会。初期から現在まで半世紀にわたる作品を展示。繊細な彫りと幾重にも重ねた微妙な色のグラデーションから生まれる木版画の世界が楽しめる。

[日程] 5月18日～7月15日

[会場] 掛川市二の丸美術館

#### ●愛知県知立市

ちりゅう芸術創造協会

〒472-0026 知立市上重原町

間瀬口116

Tel. 0566-83-8100 堀川克磨

<https://patio-chiryu.com/>

#### ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」[知立の山車文楽とからくり]保存会公演

同一の山車の上でからくり人形が浄瑠璃に合わせて物語を演じ、引き出し舞台の上で文楽が上演される、全国的にも珍しい知立の山車文楽とからくり。2年に一度の知立まつりで奉納される山車文楽と山車からくりを、お祭りさながらに屋内ホールで楽しむ企画。2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された知立が世界に誇る伝統芸能の魅力を、未来へ伝え残していく。

[日程] 7月7日

[会場] 知立市文化会館

#### 近畿

#### ●三重県津市

三重県立美術館

〒514-0007 津市大谷町11

Tel. 059-227-2100 高曾由子

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/index.shtm>

#### さわって楽しむ柳原義達の作品

「誰もが利用しやすい環境を整える」ことを目指し、同美術館が2022年に実施した特設企画の作品を入れ替えての再展示。通常は作品を守るため触ることができない美術作品の一部を、手を当て、素材の温かさや凹凸など、五感を使って楽しむことによ

って、目だけで鑑賞している時とは異なる発見を得る機会を提供し、すべての人に開かれた展示を実現する。

[日程] 5月14日～7月21日

[会場] 三重県立美術館

#### ●滋賀県米原市

滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 米原市下多良2-137

Tel. 0749-52-5111 吉井美花

<https://www.s-bunsan.jp/>

#### びわ湖ミュージックフォレスト2024 File1 ピアノ三重奏 Trio Ex

湖国・滋賀にゆかりがあり、将来有望な若手演奏家を紹介する「びわ湖ミュージックフォレスト」。今回は滋賀県出身のピアニスト・リード希亜奈がベルリン留学で出会った2名と結成したTrio Exによるピアノ三重奏コンサート。故郷のホールで演奏することにより、若手演奏家の個性や魅力をたっぷり堪能することができる。

[日程] 7月20日

[会場] 滋賀県立文化産業交流会館

#### ●大阪市

ザ・シンフォニーホール

〒531-8501 大阪市北区大淀南2-3-3

Tel. 06-6453-1010 栗田聖子

<https://www.symphonycity.jp/>

#### プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のタイタニック

ザ・シンフォニーホールが誇る荘厳なパイプオルガンの響きと連動して、プロジェクションマッピングのめくるめく煌びやかな光がダイナミックに投影される人気企画「超絶シリーズ」。今回は『タイタニック』をはじめ洋画・邦画を問わず、多岐にわたる映画音楽を演奏予定。オルガン演奏は、名手として高い評価を受ける大木麻理が務める。

[日程] 7月26日

[会場] ザ・シンフォニーホール

#### 中国・四国

#### ●島根県浜田市

浜田市教育文化振興事業団

〒699-3225 浜田市三隅町古市場589

Tel. 0855-32-4388 上田優里

<https://www.sekisho-art-museum.jp/>

#### 石正美術館動物コレクション展 「日本画 ZOO」

舞妓や裸婦の作品で知られる日本画家・石本正(1920～2015)は、動物や花、風景に関する作品も数多く残しており、今回の展覧会では、その中から「動物」に焦点を当てる。石本を含む全12名の作家の、動物を描いた日本画やスケッチを一堂に展示し、大人から子どもまで、会場に足を踏み入れるとまるで動物園に来たかのような感覚を味わえる内容となっている。

[日程] 6月8日～8月25日

[会場] 浜田市立石正美術館

#### ●広島市

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22

Tel. 082-221-6246 山下寿水

<https://www.hpam.jp/museum/>

#### 収蔵作品展 第2期 サマーミュージアム 美術の教科書! 「あの作品、あの作家」と出会う、学ぶ

「教科書」をテーマに、美術の面白さをわかりやすく紹介する所蔵作品展。実際の教科書に掲載された収蔵作品・作家の展示をはじめ、ダリの《ヴィーナスの夢》の傍らではダリがあこがれた巨匠を紹介するなど、さまざまな切り口で作品を楽しむことができる。美術の教科書を手に取れるコーナーや鑑賞補助ワークシートの用意といった子どもも楽しめる仕掛けのほか、インスタライブによるギャラリートーク

も実施予定。

[日程] 7月19日～10月6日

[会場] 広島県立美術館

#### 九州・沖縄

#### ●熊本県津奈木町

つなぎ美術館

〒869-5603 葦北郡津奈木町岩城494

Tel. 0966-61-2222

<https://www.tsunagi-art.jp/>

#### 青柳綾 gaju 二人展「私たちの物語 会えてよかった」

共に1970年代後半に熊本で生まれ、さまざまな人や土地との出会いのなかで独学で得た知識と技術を生かしながら熊本を拠点に創作活動を続けてきた画家・青柳綾と造形作家・gaju。新作を交えた展示により、ふたりのこれまでの歩みと同様に、あらゆる人・物・場所・出来事などが互いに“会えてよかった”と思える機会を創出する。

[日程] 4月27日～7月15日

[会場] つなぎ美術館

#### ●大分県大分市

iichiko総合文化センター

〒870-0029 大分市高砂町2-33

Tel. 097-533-4004 笹田桃菜

<https://emo.or.jp/>

#### 詩を愉(たの)しむ日本の歌コンサート

2019年から取り組む鑑賞支援付きプログラム。今年は、教科書でよく目にする詩をメロディーに乗せ音楽で届ける、親しみやすい日本の歌のコンサートを開催。歌詞や音楽を体全体で表現し、通訳する舞台手話通訳を福岡ろう劇団博多が担当。放課後等デイサービスや特別支援学校の子どもたちが中心になり描いた絵を投影し、視覚的にも楽しめる。

[日程] 7月30日

[会場] iichiko総合文化センター



## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### 財団からのお知らせ

●地域創造フェスティバル2024  
[日程] 7月29日(月)～31日(水)  
[会場] 東京芸術劇場  
(東京都豊島区西池袋1-8-1)  
[申し込み方法] 地域創造ホームページ  
「参加登録フォーム」からお申し込みください。  
<https://www.jafra.or.jp/project/festival/01.html>  
●問い合わせ  
芸術環境部 児島  
Tel. 03-5573-4183

### ●地域創造フェスティバル2024 参加者募集

地域創造が取り組んでいるさまざまな事業を紹介するとともに、公共ホールや自治体の皆さんが事業を企画・実施する上で参考となる情報を提供することを目的として、「地域創造フェスティバル2024」を7月29日～31日の3日間、東京芸術劇場(東京都豊島区)で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。  
※事前申し込み制です。一部のプログラムは定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

募集締切:7月19日(金)必着

### 地域創造フェスティバルのみどころ

#### ◎おんかつ支援プレゼンテーション (公共ホール音楽活性化支援事業)

おんかつ支援の登録アーティスト53組が、音楽との新しい出会いを地域へ届けるため工夫を凝らした演奏とトークを、一組約25分の持ち時間の中で披露します。

#### ◎ダン活プレゼンテーション (公共ホール現代ダンス活性化事業)

令和7年度ダン活登録アーティスト7組による、ダンスパフォーマンスやワークショップのデモンストレーションを鑑賞いただけます。

#### ◎シンポジウム「アウトリーチから改めて考える文化芸術の役割」(令和5年度調査研究事業報告)

公立文化施設が実施するアウトリーチやワークショップが参加者の意識や生活、公立文化施設の運営等にどのような影響を与えてきたのか、成果や効果等について、令和4年度から2年間にわたって調査研究を行いました。2年間の調査結果とアウトリーチやワークショップの今後の展開等に関する提言を紹介することで、改めて文化芸術の役割について考えます。

#### ◎Jafra テーブルトーク 2024

おんかつ、邦楽、リージョナルシアター事業を実施してきた、あるいはこれから実施を検討したいという地方公共団体やホール担当者が、お互いに問題点や意見を出し合い、共に話し合う機会です。

### 地域創造フェスティバル2024 プログラム

\*詳しいプログラム内容やタイムスケジュールは同封チラシまたは地域創造ホームページをご覧ください。  
\*出演者および出演日等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

7月29日(月)	7月30日(火)	7月31日(水)
	<b>●シンポジウム</b> [モデレーター] 吉本光宏(文化コモンズ研究所) [調査研究事業報告] 大澤寅雄(文化コモンズ研究所) [パネリスト] 田中真実(認定NPO法人STスポット横浜)、隅地菜歩(振付家・ダンサー)、長野隆人(いわき芸術文化交流館アリオス)、若林朋子(プロジェクト・コーディネーター/立教大学大学院社会デザイン研究科特任教授)	<b>●Jafra テーブルトーク 2024</b> [ファシリテーター] ●リージョナルシアター事業派遣アーティスト:有門正太郎、福田修志 ●おんかつコーディネーター:菊地俊孝、佐藤良子 ●邦楽事業コーディネーター:伊藤由貴子、谷垣内和子
	<b>●ダン活プレゼンテーション</b> 井田亜彩実、岩淵貞太、Von・noズ、橋本真那、黒須育海、浅井信好、康本雅子	<b>●助成・事業説明会</b> 地域創造助成要綱、公立美術館活性化事業の説明を行います。
<b>●おんかつ支援プレゼンテーション</b> [ピアノ] 奈良希愛 [弦楽器] 甲斐摩耶、早稲田桜子(ヴァイオリン)/海野幹雄、奥田なな子、加藤文枝(チェロ) [管楽器] 吉岡次郎(フルート)/高見信行(トランペット)/加藤直明(トロンボーン) [声楽] 小林厚子(ソプラノ)/西村悟(テノール) [打楽器] 大熊理津子(マリンバ)/新野将之(パーカッション、マリンバ) [その他] 関喜弦介(クラシック・ギター)/棚原健太(歌三線) [アンサンブル] カメハ(パーカッションデュオ)/Quartet SPIRITUS、Quatuor B(サクソフォン四重奏)	<b>●おんかつ支援プレゼンテーション</b> [ピアノ] 酒井有彩、佐々木京子、高橋ドレミ [弦楽器] 北島佳奈(ヴァイオリン) [管楽器] 森岡有裕子(フルート)/田中拓也(サクソフォン)/喜名雅(チューバ) [声楽] 上田純子、梅津碧、乗松恵美(ソプラノ)/吉川健一(バリトン) [打楽器] 野尻小矢佳(パーカッション&ボイス) [その他] 松尾俊介(クラシック・ギター)/藤重奈那子(箏・地歌三味線)/山本奈央(オカリナ) [アンサンブル] Dual KOTO×KOTO(箏デュオ)/泉真由×松田弦(フルート&クラシック・ギター)	<b>●おんかつ支援プレゼンテーション</b> [ピアノ] 新崎誠実、今田篤、岩崎洵奈、今野尚美、水谷桃子 [弦楽器] 石上真由子、坂口昌優、高橋和歌(ヴァイオリン) [管楽器] 荒川洋(フルート)/田村真寛(サクソフォン) [声楽] 竹多倫子、渡邊史(ソプラノ)/ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン) [打楽器] 宮本安子(打楽器・マリンバ) [その他] 福島青衣子(ハーブ) [アンサンブル] ピアノトリオ・ミュゼ(ピアノトリオ)/アーバンサクソフォンカルテット、Modétro Saxophone Ensemble(サクソフォン四重奏)
<b>●情報交換会</b> アーティストや全国の公立文化施設の方々との交流ができます。情報交換やネットワークづくりにぜひご参加ください。		

\*おんかつ支援プレゼンテーションの出演時間および出演順は、現在調整中です。

## 財団からのお知らせ

### ●令和7年度リージョナルシアター事業 実施団体募集

演出家や俳優(以下、派遣アーティスト)を公共ホールに最大3回派遣し、公共ホールとともに演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する「リージョナルシアター事業」の実施団体を募集します。

この事業では、学校等の施設を訪れて子ども等を対象にワークショップを行うアウトリーチや、ホール等で多様な参加者に応じたワークショップを実施します。地域のニーズやホールの目指す方向性に合わせて自由に企画することができ、地域の課題に取り組むことが可能になります。また、公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上、ホールの活性化も期待できます。

令和7年度は、7名の派遣アーティストによる多様なアプローチで事業を展開していきます。これまでの事業では、小中学校でのアウトリーチや、公募した市民とともに街歩きやホール探検をして地域・ホールの魅力を再発見する

ワークショップ、行政職員や教員の研修として行うワークショップなど、多岐にわたるプログラムを実施しています。

各地域での事業実施前には実施団体と派遣アーティストによる研修会を実施します。過去の事例紹介やワークショップ体験、事業実施に向けた打ち合わせを行いながら、各地域の課題や展望を共有していきます。

演劇の手法を使った新しい取り組みへの挑戦や、派遣アーティストの新しい視点を活用したいという皆様のご応募をお待ちしています。詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html>

**募集締切：8月13日(火)必着**

地域創造公式YouTubeチャンネルでは令和4年度リージョナルシアター事業の山形県酒田市・福島県白河市の取り組みを配信中!ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/l6b3ykn3y-Y>



#### ●令和7年度リージョナルシアター事業

##### ◎派遣アーティスト

●多田淳之介(演出家、東京デスロック主宰)

●田上豊(劇作家・演出家、田上バル主宰)

●有門正太郎(演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ主宰)

●福田修志(劇作家・演出家、F's Company代表)

●越智良江(劇作家・演出家、演劇ユニットKOKOO主宰)

●志賀亮史(演出家、百景社代表)

●樋口ミュ(劇作家・演出家、Plant M主宰)

※アーティストプロフィールは下記のURLよりご確認ください。

[https://www.jafra.or.jp/fs/6/8/7/2/5/\\_/2024regional\\_profile.pdf](https://www.jafra.or.jp/fs/6/8/7/2/5/_/2024regional_profile.pdf)

##### ◎アドバイザー

●内藤裕敬(劇作家・演出家、南河内万歳一座座長)

●岩崎正裕(劇作家・演出家、劇団太陽族代表)

##### ◎問い合わせ

芸術環境部 藤原・田中

Tel. 03-5573-4124

[regional@jafra.or.jp](mailto:regional@jafra.or.jp)

※実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html#boshu>

### 令和6年度地域創造大賞(総務大臣賞)募集開始

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。ご応募をお待ちしています。

**募集締切：2024年8月9日(金)**

#### ●表彰対象

●開館から概ね5年を経過している(廃校施設等の転用施設を含む)

●地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績を挙げている

●条例により公の施設として設置および管理されている

●以下の①～⑤を主な活動分野としている文化施設

①音楽分野

②演劇・ダンス分野

③伝統芸能分野

④美術分野

⑤その他(文化・芸術の新機軸となり得る創意工夫をこらした文学・歴史などで①～④の分野と連携しながら継続的に事業を展開していると認められるもの)

#### ●審査の主なポイント

●地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか

●先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか

●地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか など

#### ◎実施要領・応募方法

「実施要領」「応募書」は当財団のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/award/01.html>

都道府県・政令指定都市は当財団に直接ご応募ください。市区町村は、当財団のホームページに掲載した都道府県の担当課を経由して提出してください。

#### ◎問い合わせ 芸術環境部・今野/総務部・林

Tel. 03-5573-4066 [taishou@jafra.or.jp](mailto:taishou@jafra.or.jp)

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### ●令和7・8年度公共ホール創造ネットワークモデル事業 実施団体募集

公共ホール創造ネットワークモデル事業は、都道府県内の公共ホール間の連携の促進、公共ホール職員等の企画制作能力の向上を図ること等を目的として、都道府県が中心となって、市町村と連携して、クラシック音楽、現代ダンスおよび演劇から複数ジャンルを取り入れた地域交流プログラム並びに作品制作および公演を実施するものです。

1年目には、都道府県内の公共ホール職員、アーティスト等を対象とするアウトリーチによる地域交流プログラムへの理解を深める研修を実施するとともに、アウトリーチで実施するプログラムの開発を行い、学校、福祉施設等において、アウトリーチによる地域交流プログラムを実施します。

2年目には、複数ジャンルを取り入れた作品を制作し、公演に関連した地域交流プログラムを実施するとともに、都道府県および市町村のホールにおいて公演を行います。

(※事業実施の流れについては、右図をご覧ください)

この事業では、都道府県と市町村の公共ホール職員等が企画制作段階から関わることで、企画制作能力の向上とともに、公共ホール間の連携の強化が期待されます。

この事業に取り組んでみたい皆様のご応募をお待ちしています。

**募集締切：7月31日(水) 必着**



小学校でのアウトリーチの様子(令和5年度/和歌山県上富田町立岩田小学校)

#### ◎対象団体

- ①都道府県
- ②都道府県の公共ホールの指定管理者 など

#### ◎事業内容

[アウトリーチ事業]

アウトリーチによる地域交流プログラムに関する研修、アウトリーチで実施するプログラムの開発、アウトリーチによる地域交流プログラムの実施

[作品創造事業]

複数ジャンルを取り入れた作品制作、制作した作品の公演、公演に関連した地域交流プログラムの実施

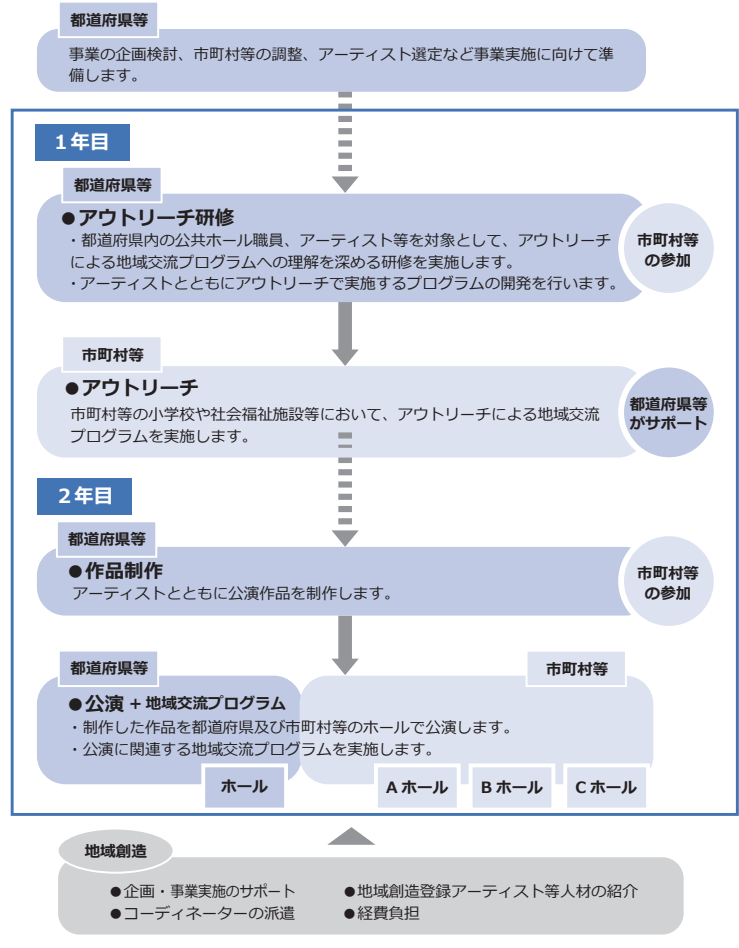
#### ◎経費負担・支援内容

- 対象経費の3分の2以内で地域創造が負担
- コーディネーター等の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●公共ホール創造ネットワークモデル事業に関する問い合わせ  
芸術環境部 粟林・溝上  
Tel. 03-5573-4075  
※実施要綱・申込書は当財団ホームページでお知らせします。

### 公共ホール創造ネットワークモデル事業の流れ



## 財団からのお知らせ

●令和6年度公共ホール邦楽活性化事業 実施団体一覧(全6団体)  
福島県白河市、兵庫県養父市、福岡県中間市、熊本県益城町、宮崎県都城市、沖縄県名護市

○邦楽事業の実施要綱・申込書は当財団のホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>

○問い合わせ 芸術環境部 森永  
Tel.03-5573-4069  
hougaku@jafra.or.jp

地域創造公式YouTubeチャンネルでは令和5年度公共ホール邦楽活性化事業の取り組みを配信中！ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/mBKZfIXYgoM>



## ●令和7年度公共ホール邦楽活性化事業 実施団体募集

公共ホール邦楽活性化事業は、オーディションで選ばれた邦楽演奏家とコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールと演奏家が共同で企画した地域交流プログラムやホールプログラムを実施するものです。公共ホールの利活

用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するとともに、日本の伝統音楽の継承発展に寄与することを目的としています。邦楽はハードルが高いと感じているホールの皆様も、ぜひ当事業をご活用ください。

募集締切：2024年9月5日(木) 必着

### ◎対象団体

- ①市町村(特別区および政令指定都市を含む)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

### ◎対象アーティスト

令和6・7年度公共ホール邦楽活性化事業登録演奏家(右)

### ◎事業内容

原則、3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。  
[地域交流プログラム] 学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業：4回(1日につき2回)  
[ホールプログラム] 公共ホールで開催する有料の邦楽コンサートまたは公募型ワークショップ：1回

### ◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(楽器運搬費など：10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地下見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。



安嶋三保子(あじま みほこ) 森梓紗(もり あずさ)  
[箏・三絃・十七絃] [箏・三絃・十七絃]



大萩康喜(おおはぎ やすよし) [尺八]

## ●令和6年度公共ホール邦楽活性化事業 全体研修会報告

令和3年度から始まった公共ホール邦楽活性化事業。4年目となる今年度は6団体が事業を実施する予定です。5月15日～17日の3日間、実施団体を対象とする全体研修会を開催しました。

福田修志さん(リージョナルシアター事業派遣アーティスト)による演劇ワークショップで幕を開けた研修会。最初は緊張感が漂っていた会場も、コミュニケーションワークにより徐々に心がほぐれ、コーディネーターも交えた物語をつくるグループワークでは、時折笑い声が出る中で、それぞれの個性があふれる物語が出来上がり、会場は温かい雰囲気になりました。コーディネーターとの親交を深めた担当者たちは、その後、アウトリーチや邦楽の基礎についてのレクチャーを受講しました。

2日目には、文京シビックホールにて、地域に派遣される令和6・7年度登録演奏家の大萩康喜さん、森梓紗さん、安嶋三保子さ

んが助演者と共に渾身のプレゼンテーションを披露しました。短い時間の中でそれぞれの魅力を存分に盛り込んだ内容に、担当者も目を輝かせていました。続いて、担当者から演奏家に向けた、地域についてのプレゼンテーションでは、パワーポイントや動画を用いながら地域の魅力を発表。担当者の熱い想いも相まって、情景が掻き立てられ、その後の交流会では、演奏家と担当者間で話が弾み、企画のアイデアも膨らみました。

3日目は、研修会の総まとめとして、グループに分かれて実際に企画を検討。担当者は、地域の課題や資源について深く考えた上で、どこで・誰に・どのようにして邦楽の演奏を届けるか、いかに住民と演奏家との出会いの場をつくるかなど、グループ内でアイデアを出し合いました。最後には一人ずつ企画を発表。言葉にすることでその想いがより明確なものとなり、また互いのアイデアに耳を傾ける機会にもなりました。

この3日間の研修を経て、地域資源を再発見したり、企画づくりのヒントを得た担当者が、演奏家と協同でどのように企画を実現していくのか、今後の邦楽事業の取り組みにもぜひご注目ください。



上：演劇ワークショップ/下：大萩康喜さんのプレゼン

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### ●令和7年度公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)実施団体募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)は、オーディションで選ばれたクラシック音楽のアーティストと専門家のコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した学校や福祉施設等での地域交流プログラムや公演を実施することにより、公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するものです。オーディションで選ばれた「登録アーティスト」の情報については7月中に決定し、当財団ホームページに公開予定です。

募集締切:2024年9月5日(木)必着

#### ◎対象団体

- ①市町村(特別区を含み、政令指定都市を除く)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

#### ◎対象アーティスト

2025・2026年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」登録アーティスト(※7月中に決定し地域創造ホームページに公開予定です)

#### ◎事業内容

3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。  
[地域交流プログラム]学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業:4回(1日につき2回)  
[公演]公共ホールで開催する有料のクラシック音楽コンサート:1回

#### ◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(主にピアノ調律費:10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地下見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

### ●令和7年度公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)実施団体募集

公共ホール音楽活性化支援事業(おんかつ支援)は、おんかつまたは公共ホール邦楽活性化事業の実施団体を対象とした、最大5カ年まで実施可能なフォローアッププログラムです。前述の事業で得たノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う市町村等に対して財政的に支援します。また令和7年度から、おんかつ支援の実施回数が3回目以降の団体は、コンサートの実施の有無を選択できるものとしています(コンサートを実施しない場合は、地域交流プログラムを8回以上実施するものとします)。要綱等の資料は、対象団体に送付いたします。

募集締切:2024年9月5日(木)必着

#### ◎対象団体

おんかつ(おんかつ支援、発展継続(支援)、文化庁連携事業を含む)または公共ホール邦楽活性化事業を過去に実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。ただし、おんかつ、公共ホール邦楽活性化事業または地域創造の他の共催事業を原則として10年以内に実施していること。

#### ◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

#### ◎支援内容

以下の①および②に係る経費の支援1年目:2/3、2年目以降:1/2を地域創造が助成します。  
(※対象経費上限は100万円。助成割合は過去のおんかつ等事業実施状況を勘案し決定)

#### ①演奏家に係る経費

出演料およびマネジメント料(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、楽器運搬費(現地楽器運搬費を除く)、損害保険料

#### ②地域交流プログラムおよび公演に係る経費

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

#### ●公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)に関する問い合わせ

芸術環境部 日野  
Tel.03-5573-4076  
onkatsu@jafra.or.jp

#### ●公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)に関する問い合わせ

芸術環境部 内田  
Tel.03-5573-4185  
onkatsu@jafra.or.jp

#### ●公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業に関する問い合わせ

芸術環境部 仕田  
Tel.03-5573-4078  
onkatsu@jafra.or.jp

※導入プログラム・支援プログラムおよび公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業の実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

#### ●導入プログラム

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>

#### ●支援プログラム

<https://www.jafra.or.jp/project/music/03.html>

#### ●市町村連携事業

<https://www.jafra.or.jp/project/music/06.html>

### ●令和7年度公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業 実施団体募集

おんかつや邦楽事業の実施団体を対象として、他の市町村の公共ホールと連携した事業の実施により公共ホール間の連携について考え学ぶ機会とするとともに、ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、令和7年度から公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業を実施することとしました。要綱等の資料は、対象団体に送付させていただきます。

募集締切:2024年9月5日(木)必着

#### ◎対象団体

幹事団体:上記「おんかつ支援」と同じ/参加団体:原則として幹事団体の近隣に存する市町村等(おんかつ等の実施の有無を問わない)

#### ◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

#### ◎事業内容

①全体研修会、企画会議等、②地域交流プログラム(各団体が主体となって実施)、③公演(有料公演、共同実施も可)、④報告会

#### ◎経費負担・支援内容

上記事業に係る経費の1/2を地域創造が負担(対象経費上限:幹事団体は150万円、参加団体は100万円)/アドバイザーの派遣/研修会における講師の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

## 財団からのお知らせ

### ●令和7・8年度公立美術館活性化事業 参加館募集

公立美術館活性化事業における4事業5種類のプログラムについて、参加館を募集します。

募集締切：2024年11月29日(金)

#### [I] 令和7年度準備・8年度開催 「市町村立美術館活性化事業」

この事業は、地域創造が提示する公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展を、市区町村の設置する美術館が共同で実施するものです。参加館で実行委員会を結成し、準備年度である令和7年度は学芸担当者会議等を行い、アドバイザーの助言のもと企画の具体化や調査研究、制作実務を参加館で分担して進めます。そして令和8年度に巡回展を開催します。

#### ●「久保貞次郎コレクション展」企画について

美術評論家、久保貞次郎(1909～96)は、創造美育協会の設立に関わり児童美術教育の改革に努めるとともに、版画普及の推進者、近代の芸術家たちの支援者としても活躍し、戦後の美術界に多くの功績を残した人物です。この久保が収集したコレクションの内、作家数89名に及ぶ油彩画、水彩画、版画、彫刻など総数約1,460点が、2013(平成25)年に真岡市に寄贈されました。

久保コレクションの多くは、久保が支援した作家たちで構成され、その内容は多岐にわたります。主な収蔵作家を一部紹介すると、瑛九や顰嘔、オノサト・トシノブ、池田満寿夫、磯辺行久などの前衛画家や、北川民次や竹田鎮三郎などメキシコに影響を受けた作家、木村利三郎や飯塚国雄などニューヨークで活躍した作家など、それぞれが独自の道を歩み戦後に活躍した作家たちが挙げられます。久保はこれらの作家たちと交友し経済的および精神的にも支援しました。また、アメリカの小説家ヘンリー・ミラーと交流のあった久保は、ミラーの絵画も収集しており、100点以上のコレクションが収蔵されるほか、1930～60年代に久保が世界各国で収集した児童画や、創造美育運動に関する資料も

地域創造は、準備年度・開催年度の2カ年にわたる助成に加え、アドバイザーの派遣や制作実務に対する助言等により、事業の実施をサポートします。

今年度募集するのは、令和8年度に開催予定の共同巡回展「真岡市所蔵 没後30年記念久保貞次郎コレクション展」(仮称)への参加館です。美術評論家・久保貞次郎が収集したコレクションの内、約1,460点の多彩な作品がゆかりの深い真岡市に寄贈されています。久保が支援した芸術家たちの紹介だけでなく、久保が集めた世界各国の児童画や、設立に携わった創造美育運動に関する資料なども収蔵されており、美術教育に関連付ける展開も考えられます。ぜひ、ご参加をお待ちしております。

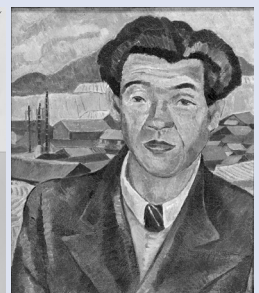
収蔵されています。このように多岐にわたる真岡市収蔵の作品を活用することで、久保貞次郎という人物の紹介にとどまらず、戦後の新しい美術表現を追い求めた作家の紹介や、創造美育運動による美術教育へアプローチする展覧会など、さまざまな切り口での展覧会が期待できます。ほかにも、日本美術界を騒がせた、滝川太郎によるピカソ、マティス、モディリアーニなどの著名な画家たちの贋作も久保コレクションとして収蔵されており、センセーショナルな展示も可能です。

本展の開催を予定している2026(令和8)年は久保貞次郎の没後30年の節目にあたります。本展を通して、久保貞次郎の幅広い功績を伝えるとともに、戦後に生きた作家たちの多様な美術表現を改めて見直す機会となれば幸いです。

(真岡市教育委員会文化課)



顰嘔《グッドバイ・ムッシュウ・ゴーギャン》



北川民次《久保貞次郎肖像》

#### ◎[I]「市町村立美術館活性化事業」 参加申し込み方法

参加を希望する市町村立美術館が、直接地域創造に申し込みます(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、参加決定後に共同巡回展実行委員会を設立していただきます。また、事業の参加に当たっては、準備年度に開催される実行委員会・学芸担当者会議への出席にかかる経費等についての予算措置が必要です。

#### ●公立美術館活性化事業に関する問い合わせ

総務部 高野・桑山  
Tel. 03-5573-4054  
bikatsu@jafra.or.jp

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/>

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### [Ⅱ-①] 令和7年度準備・8年度開催

#### [公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]

### [Ⅱ-②] 令和7年度開催

#### [公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]

3館以上の公立美術館が共同で自主的に企画・制作による、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展に対し助成します。

「2か年プログラム」は、令和7年度に企画の具体化や調査研究、出品交渉やカタログ編集等の準備作業を行い、令和8年度に巡回展を開催する事業を対象とし、準備年度150万円、開催年度2,000万円を上限に助成します(なお、開催年度助成金については、決定額の50%までの前金払い請求が可能です)。

「単年度プログラム」は、令和7年度に開催される共同巡回展について、A.作品借用・展示関連経費への助成と、B.図録作成経費への助成のどちらかをご選択いただき、A.については500万円、B.については300万円を上限に助成します。

### [Ⅲ] 令和7年度実施

#### [公立美術館共同巡回展企画支援事業]

2館以上の公立美術館による、「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の申請に向けた、

企画内容の検討や調査研究等の取り組みを支援します。学芸担当者会議の開催や調査活動のための経費に対し、100万円を上限に助成するほか、アドバイザーの派遣、会議室の提供、他の参加館募集の告知等による支援も行います。

### [Ⅳ] 令和7年度実施

#### [公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]

2館以上の公立美術館が共同で企画する、公立美術館の所蔵品を活用した地域交流プログラムの実施に対し、100万円を上限に助成します。参加館や他の公立美術館のコレクションを活用した展覧会(異なる展覧会も可)に関連し、各館の展示内容やテーマ(作家、素材、技法、様式、モチーフなど)をもとに自主的に企画・実施される地域交流プログラムが対象です。

#### ◎市町村立美術館活性化事業 貸出協力館を募集します

令和9年度(令和8年度準備)以降に開催する共同巡回展のための協力館を募集します。都道府県政令指定都市設置の美術館もご応募可能です。協力館には、収蔵作品の貸出や、巡回展開催のために助言等を行うアドバイザーに就任等をお願いしています。

本事業では西洋美術や版画、工芸、写真、現代美術等、多様なジャンルの展覧会を23回開催し(令和5年度までの実績)、美術館の連携促進、共同事業の可能性を広げることによる公立文化施設の活性化を目指してきました。また、巡回展は全国各地の美術館3～4館程度を約1年かけて開催しますので、収蔵作品活用機会になります。詳細は担当までお問い合わせください。

#### ◎[Ⅱ-①][公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]申請方法

●準備年度:各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

●開催年度:準備年度に助成決定を受けた共同巡回展実行委員会より申請します。

#### ◎[Ⅱ-②][公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

#### ◎[Ⅲ][公立美術館共同巡回展企画支援事業]および[Ⅳ][公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(指定管理者制度を導入している施設の場合に限り、設置者である地方公共団体の長の副申が必要)です。なお、実行委員会の設立は必要ありません。

事業名	対象となる美術館(*1)	申請について	助成措置		
			助成率(*2)	上限額	助成期間
[Ⅰ] 市町村立美術館活性化事業	市区町村(政令指定都市を除く)の設置する美術館	参加を希望する各市町村立美術館より申請 ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:10/10 開催年度:2/3	準備年度:100万円 開催年度:1,200万円	
[Ⅱ-①] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館	3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる) ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:2/3 開催年度:2/3	準備年度:150万円 開催年度:2,000万円	2年間
[Ⅱ-②] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)		3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	2/3	作品借用・展示関連:500万円 図録作成関連:300万円	
[Ⅲ] 公立美術館共同巡回展企画支援事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	1年間
[Ⅳ] 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	

\*1 公立美術館活性化事業における美術館とは、博物館その他を含め、美術作品の公開および保管を行う施設をいいます。

\*2 [Ⅰ]の開催年度および[Ⅱ]-①については、対象経費の合計額から収入を控除した額の助成率です。その他については、対象経費の合計額に対する助成率となります。

## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

### 愛知県豊田市

豊田市美術館  
豊田市博物館

## 未完の始まり: 未来のヴンダーカンマー



上: 巨大なガラス張りの常設集合展示  
下: 「未来のヴンダーカンマー」展示の様子  
(ガブリエル・リコの作品)

#### ● 豊田市博物館

[開館] 2024年4月26日

[所在地] 〒471-0034 豊田市小坂本町5-80

[構造] 鉄筋コンクリート(一部木造)、地上4階、敷地面積: 約40,100㎡、建築面積: 約4,500㎡、延床面積: 約7,800㎡  
[施設概要] 常設展示室(約650㎡)、展示室1(約550㎡)、展示室2(約230㎡)、セミナールーム(約250㎡)、体験室(約80㎡)、収蔵庫: 約1,430㎡ など

\* 博物館準備プロジェクトの一環として2021年から自然標本あつめるプロジェクトをスタート。豊田市の自然環境を紹介する標本コレクションの完成を目指して、身近な存在である昆虫と岩石を対象に採集・標本化を行い、オープニング展で成果が展示された。

\* 10月に開館記念特別展「旅するジョウモンさん—5千年まえの落とし物—」、来年1月に特別展「和食—日本の自然、人々の知恵—」を予定。

#### ● 未完の始まり: 未来のヴンダーカンマー

[主催・会場] 豊田市美術館

[会期] 2024年1月20日~5月6日

[出品作家] リウ・チュアン、タウス・マハチェヴァ、ガブリエル・リコ、田村友一郎、ヤン・ヴォー

現代アートの企画展で知られる豊田市美術館(1995年開館)に隣接して、2024年4月、豊田市博物館が開館した。設計は建築家の坂茂で、谷口吉生が設計したモダニズムの名建築である美術館とピーター・ウォーカーがデザインしたランドスケープによって連なり、一体感のあるミュージアムゾーンが完成した。

豊田市美術館・前館長の村田真宏さんが博物館の初代館長に就任。また、市役所の市長部局として美術・博物館を設けて両館を直営で運営するなど、体制としても注目されている。

5月6日、新博物館とそのオープニングに合わせて企画された美術館の「未完の始まり: 未来のヴンダーカンマー」展取材した。

15世紀のヨーロッパで始まった「ヴンダーカンマー(脅威の部屋)」は、世界中から美しいもの、珍奇なものを集めて展示する、ミュージアムの原型とされる。この展覧会では、こうしたあり方を現代の美術館として捉え直し、歴史や資料や伝統を批評的・創造的に再構成するメキシコ、旧ソ連、日本、中国、ベトナムで生まれた5名のアーティストによる新旧作品が展示された。

剥製やメキシコ先住民の毛糸絵に無機的な素材や幾何学を融合させてメルヘンで神話的な世界を表現したガブリエル・リコ、豊田市をリサーチした膨大な情報を元に人類の歩みを大量のスマートフォンやチタン、映像を用いたインスタレーションで展開した田村友一郎の新作など、多様な価値観や視点が交差する展示になっていた。「開館から30年を経て、豊田市美術館では来館者が謎めいたもの、わからないものを積極的に楽しもうとする姿勢が以前よりはっきりとうかがえる」そうだ。

博物館に移動すると、1階常設展示室に設置された巨大なガラスキューブの展示ケース(高さ約8m)に目を奪われた。「とよたモノ語り」と題して、市内に生息する動物の剥製や植物・昆虫標本、祖父母の家にあったような民具や家電から土器までが曼荼羅のように集合展示されていた。その周りには、市民が自らの記憶を記す「とよた記憶カード」のコーナー、自動車産業の

展示、えんにち空間には祭りの山車もあった。

「市民とともにつくり続ける」をコンセプトにした博物館について村田館長にインタビューした。

「このエリアは豊田市の文化ゾーンとして位置付けられていて、当初から博物館を整備したいという意向があった。美術館の開館から30年ズレたことで環境も変わり、市民とともにつくり続ける、自然を含めた総合博物館にするというコンセプトになった。私は福島県立美術館、愛知県立美術館の開館に携わり、豊田市美術館の館長に就任した。そうした経験の中でミュージアムと社会はどう繋がっていくべきなのかがずっと気になっていた。

博物館は余暇を楽しむところでもあるが、もっと社会と直接つながるべきだし、地域社会をつくる拠点になるべき。過去のもの扱ったとしてもそれは未来の人と街をつくる拠点として機能すべきだ。啓蒙型で学芸員が展示や解説を提供するというのではなく、『人々がそこに集まり、未知なるものに出会い、そこから議論が始まっていく』フォーラムとしてのミュージアムが総合博物館なら形にできると思った。

『市民とともにつくり続ける』ための仕組みが『とよはくパートナー』だ。現在、企業団体が87、個人が165人いる。個々のパートナーと何ができるか、何をしたいかを対等の関係で考えるもので、資金を集めるのが目的ではない。

こうした博物館が美術館の隣にできたことで、中途半端に連携するというのではなく、お互いに個性を発揮し合いながら調和することができるのではないか」

パートナーには、例えば開館初日に木遣りを披露した豊田木遣り保存連合会、山車を提供した大神山車離子保存会・拳母祭り保存会、合唱団、もちろんトヨタ自動車もいる。個人パートナーたちは、ガイドグループや資料を虫歯から守る環境維持グループなどに所属して、博物館をつくる一員として活躍している。村田館長は、「豊田は車の街であることは事実だが、その前に人々の営みや自然があるということを市民や来場者に再認識してもらおうのも博物館の役目だ」と締め括った。(アートジャーナリスト・山下里加)